

1 ティキが来た日

家で小犬をかいいたので、ラブを探していました。その時、犬屋さんが、ためしにセッターを貸してくれました。さいしょに見たときはかわいかったけれど、キョンキョンなくものだから、朝の3時に起こされました。かつてみるとたいへんだな— と思いました。奈穂は小犬だからたいへんなのかと思っていました。でもこのセッターをかう気にはなれないような気がしました。奈穂がいつか本で見たラブドールはやさしそうな顔をしていました。だからセッターがわんばくなだけかと思っていました。

木村さんの家にラブの子犬が生まれていると言うことを聞きました。

そして、十月十三日に見に行きました。黒いちっちゃいかわいい犬が七匹ぐらいました。でも、奈穂は母犬のノイさんがこわかった。小犬たちはこわくはないけれど。

お父さんが一匹とってベットのの上にせました。小犬はその

気になってちよこんとすわっていました。もう奈穂は今すぐ家へもって帰りたいぐらいでした。

家に帰って、お母さんに小犬のことを聞くと「ちゃんと飼えるの？」などと言われます。その時は、はじめてなので犬をかうのはいいがいかんたんなのかと思っていました。

家にティキが来ることになって犬屋さんが家にもってきてくれるとのれんらくでした。待っているときはとっても時間がながく感じられました。時間より早く来るといいなんて思いました。待っているあいだにダンボールに毛布をいれてあげました。

ティキは家についたら、なんと、うんちとゲボをしちゃってんです。でも、犬のほうはとってもかわいかったです。その日は子犬は一階におろしてありました。

その日の夜はあしたがうれしかったです。

「あした犬とあそぼー。」

2 ティキのくろう

ティキがきて何日か過ぎて、ちょうどティキが階段を二段ぐらいのぼれるようになったときは、もう、うんちやおしっこを階段の下にしてみました。

ティキが来て一ヶ月たったころはトイレトペーパーなどビリビリしてたいへんでした。だから私の部屋の物はほとんど棚の上におきました。そんなことから家においてけなくなり、ちゅう車場におりを作り、外出するときはそこへおいていくことになりました。けれど、こんどは、さびしいものだから、ないて近所の人たちからくじょうがきて、こまりました。

3 ティキが来て良かったこと

ティキはいたずらをするけれども、いいあそびあいてでもあつるし、るすばんのときはとつてもたよりになるし、なによりもたよりになるし、こわくないし、るすばんのときあそびあいてなつてくれる。動きがかわいい。

4 ティキが来てがっかりしたこと

まず、ティキの毛がすごいので、ごはんなどの中にはいつてしまっている。だから奈穂たちもしょっちゅう掃除させられて

やだ！

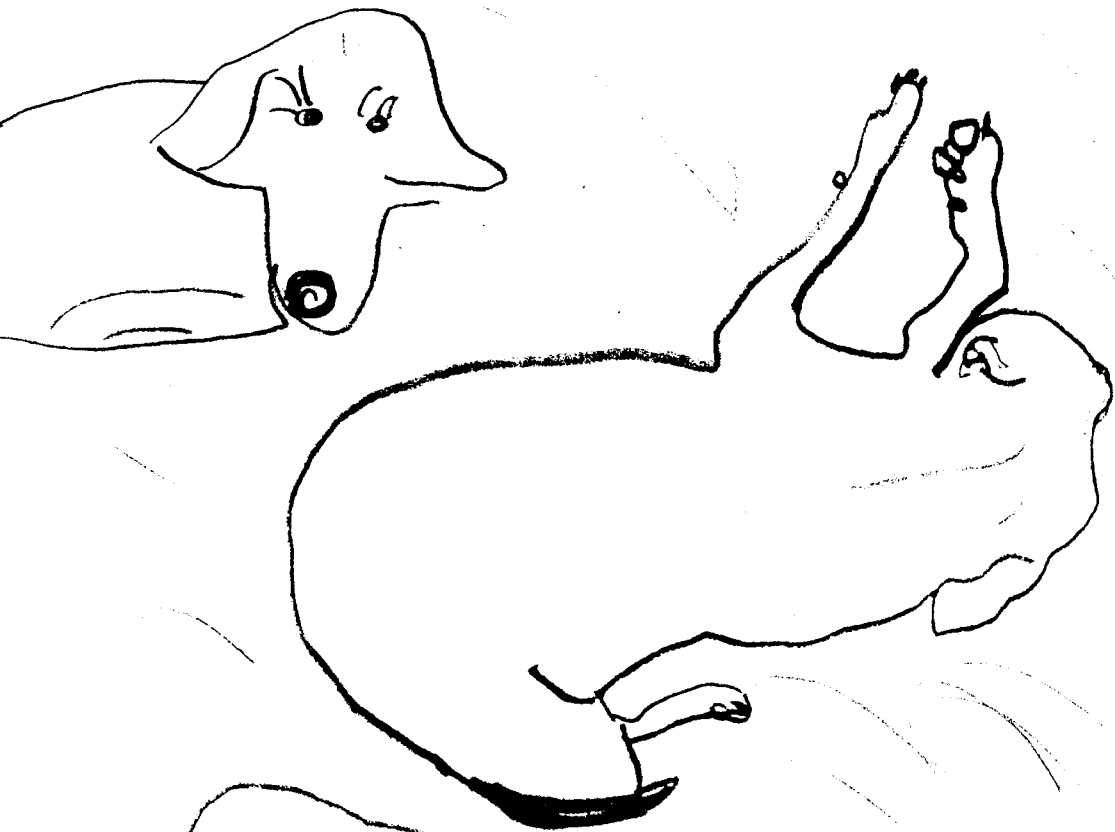
外でごはんをたべなくなったし、そのようなことでよくおこられることが多い。それから、はやく家へ帰らなくてはいいからやだ。あそべない。旅行へいけない。家の中でトイレするのでとるのがやだ。しつけをするのがたいへん。

5 ティキがもしいなかったら

もし、ティキがいなかったら私はずっと犬ぎらいの人になっていた。もっともおもしろいことを知らなかっただろう。うれしいことや、おもしろいことや、かなしいこと、むしろ、うれしいこと、おもしろいことがはんぶん以上なかったと思う。ティキはこの家の一員だ。おなじように生きるんだ！

6 ほかの犬たち

ティキは家の中でかっている犬だ。ほかの犬はたいがい外だ。よその犬の前をとおるとティキはぜいたくかなと思う。でも私はそれでもいいと思う。おわり



田村奈穂